

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表：R2年3月15日

事業所名：ミニコンスアリス

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 配置基準を満たしているが特性に対応していくためには基準以上の配置が必要であると考えています。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | ○ | | 一日のスケジュールを提示したり、活動内容や障害の特性に応じて視覚支援を取り入れています。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | 療育終了後は療育室、トイレなどの清掃を行い清潔な環境を保っています。手指消毒、おもちゃ等の消毒など用途により消毒液も使い分けており感染症への対応には特に配慮しています。 | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | 療育前、療育後にミーティングを行っています。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | 保護者の皆様年に1回、評価アンケートを実施しており業務改善に活用させていただいています。 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | 法人のホームページにて公表しています。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | 外部評価は実施していませんが鹿児島県が毎年施設の運営状況等を実地、書類等で確認されています。 | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | 法人研修、施設内研修等を開催しています。外部研修等の案内は職員で回覧しており積極的な参加を促しています。 | 積極的に専門的な研修へ参加し、スキルの向上につなげていきたいと思っています。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | アセスメントの際は円城寺式を取り入れています。保護者からの聞き取りを細かく行っています。 | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | 臨床心理士にアドバイスをもらいながら円城寺式や新版K式など取り入れて活用しています。 | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | 運動、学習、音楽など課題によって役割分担をしています。多職種の意見を取り入れながら行っています。 | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | 発達の段階に応じて活動内容や目的を決めて職員間で協議検討を行うようにしています。 | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | 多職種の意見を取り入れた計画を作成しています。 | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | 当日のリーダーを中心に活動の流れや役割分担、支援上の留意点等を確認しています。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | 療育後にミーティングを行い、多職種で協議し、情報の共有に努めています。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | 日々の療育の様子は都度記録に残しています。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | 計画作成後は最低、6か月に1度モニタリングを行い計画作成後は個別支援会議を開催しています。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------------|----|---|----|-----|---|---|
| 関係機関や保護者との連携関係 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | 主に児童発達支援管理責任者が参加していますがお子様の状態に応じて作業療法士、看護師、栄養士なども参加しています。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | 発達相談会等への参加や公開療育の開催などで連携を図っています。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | 並行通園先と年に2~3回程度連絡会を実施しています。 | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | ○ | | 主に母親を通じて主治医と連携を図っています。訪問看護ステーションなどは必要に応じて連携しています。 | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | 年に数回、保育園や幼稚園の先生方にアリスに来ていただきお子様の情報共有や関わり方など連絡会を実施しています。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | 毎年、小学校や特別支援学校と移行支援会議を開催しています。 | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | センター会議で情報共有を行っています。重症心身障害に関しては当センターで連絡会や研修会を開催して連携を図れるようにしています。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | 並行通園をされているお子様は多くいらっしゃいますが特に療育の中で活動予定はありません。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ○ | | 医療的ケア児部会へ参加している他、研修会等には積極的に参加しています。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | |
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | ○ | | 必要に応じて作業療法士や保育士が個別に対応しています。 | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 契約時に説明をさせて頂いています。また、施設の玄関に掲示しています。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | | 個別支援計画にて説明を行い、同意を得ています。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 随時、相談を受けており必要に応じて専門職の面談や発達検査などに繋がっています。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | 療育参観を行った後に茶話会を実施し、職員も交えて交流を図れるようにしています。 | 父母の会は設置されていません。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 苦情相談窓口、解決責任者を選任し、迅速に対応できるようにしています。また、内容は第三者委員に報告しています。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | ミニオンタイムズや法人の広報誌に活動の様子など掲載しています。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | | 個人情報は鍵付きの書庫に保管しており厳重に管理しています。 | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | お子様とのコミュニケーション手段としては絵カードや写真など視覚支援を活用したり、保護者には迎えに来られた際に個別に対応しています。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | 事業所の行事に地域住民を招待することは行っておりません。児童民生委員の方が見学に来られるなど連携は図っています。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|--|----|-----|---|---|
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | 感染症対策マニュアル等を作成し、保護者へ配布して周知徹底を図っています。 | |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 地域の消防署立会いの下で総合訓練も辞ししています。 | 避難訓練は月に1回行っていますが保護者への周知が不十分であると感じたので行事予定表への記載等分かりやすく掲示していきたいです。 |
| | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | 利用開始前に保護者に聞き取りをさせて頂いております。 | |
| | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 医師の指示書を提出してもらい施設の看護師とも連携して多職種で安全に支援が行える体制を整えています。 | |
| | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | 職員間で共有しています。 | |
| | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 外部研修への参加、施設内で虐待防止や人権擁護の研修に取り組んでいます。 | |
| | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | | 現在身体拘束の実績はありません。施設でマニュアルを作成しており職員間で周知を図っています。 | |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。